

い ま お か ご し ゃ あ と
今 岡 御 所 跡

●所在地／宮下 ●所有者／宮下地区

茶臼山ちやうすやまの丘の上（新池の堤）にある。ここは伊豫皇子いよおうじの御陵みささぎと伝えられ、『大洲旧記おほずきゆうき』によると伊予の豪族河野氏の遠祖孝靈天皇こうれいの皇子彦狭島命ひこさしまのみこと（伊豫親王いよしんのう）が居住され、その崩御地ほうぎよちであるとされている。

ここは弥生時代の住居地で土器片、石庖丁、石斧など多くの出土品があり、古墳時代には茶臼山の名が示すように前方後円墳ぜんぽうこうえんふんであった可能性がある。

昭和38年（1963）池の改修工事により全壊したが、昭和54年（1979）その跡に碑が建てられた。

